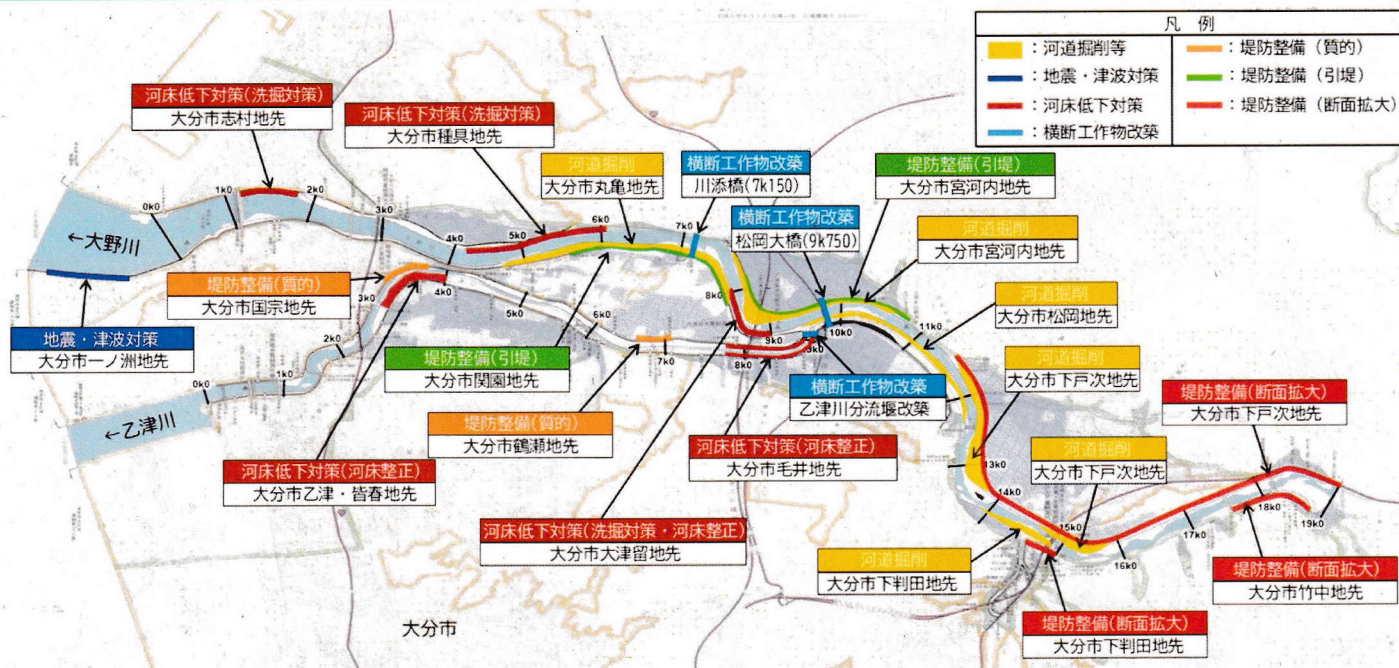


大野川水系河川整備計画の新たな目標

- 平成29年9月17日洪水（白滝橋観測史上最大）の実績流量を安全に流下させることが出来るよう整備計画を変更します。
- 整備期間：概ね30年
- 整備目標：目標流量10,500m³/sのうち、10,500m³/sを河道整備で対応
- 主な整備内容：以下のとおり



○河床低下対策

河床が深掘れ等している箇所について、根固め工等により洗掘の防止を行います。

○河道掘削等

河道の流下断面を拡大し流下能力を確保するために行います。

○堤防整備（引堤）

河道の流下断面を確保するために行います。

○堤防整備（断面拡大）

整備計画の河道配分流量に対して所定の堤防断面を確保できていない箇所について断面拡大を行います。

○堤防整備（質的）

洪水時の降雨及び河川水の浸透により堤防（停滞及び基礎地盤）が不安定化することを防止するために必要な対策を行います。

○堤防整備（地震・津波対策）

大規模な地震が発生した場合においても堤防としての必要な機能を確保するために必要な対策を行います。

○横断工作物等の改築

引堤に合わせ、長さが足りなくなる橋梁の改築を行います。また、乙津川へ所定の分派量を確保するよう乙津川分流堰の改築を行います。

洪水対策のイメージ横断面図

